

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／総務部人事課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	職員研修・育成事業	持続可能で信頼される行政になっている	職員の資質向上を図るため、職員研修の企画運営を行う。	研修計画に基づいて、新採職員研修や職階別の基本研修を開催。また、他市町との合同研修やマッセOSAKAでの研修への参加案内を行った。	2：一定近づいた	継続	6,996	11,281	18,277	業務の負担感が増加、日々の業務に追われる環境で、自己啓発の研修に参加できる余裕がなくなっている。	研修後のアンケート等を活用しながらより効果の高い研修を実施する。	
2	人事・給与管理事業	持続可能で信頼される行政になっている	組織を統制し、業務能率の維持向上を図るため、人事及び給与を適正に管理する。	人事給与システムや庶務事務システムを活用し、適正な人事及び給与管理を行った。	2：一定近づいた	継続	105,690	47,161	152,851	定年延長制度の施行など制度の変更への検討・対応は適宜実施していく必要がある一方、先を見据えた行革プランの検討・実施など、課題は山積しており、幅広い対応が求められている。	国との権衡を失しないよう、また府内各市町の状況も把握しながら現行制度等を見直し、各種新制度を本市に合うかたちで慎重に検討する必要がある。	
3	職員会館管理事業	持続可能で信頼される行政になっている	職員会館の施設機能を保持するため、施設及び設備を適切に管理する。	職員、市民が利用しやすい施設管理を行った。	2：一定近づいた	継続	5,531	2,547	8,078	庁舎建て替え時に併せて取り壊すことが合理的であるため、修繕には費用対効果を考慮する必要がある。	利用者の安全性・利便性を優先する	
4	職員安全衛生事業	持続可能で信頼される行政になっている	職員が健康で意欲を持って安心して職務を遂行できる環境づくりを図るため、職員の安全衛生を適正に管理する。	職員健康診断やストレスチェックを実施し、結果を本人へフィードバックすることで健康管理を促すと共に、産業医面談や保健指導等を実施した。	1：少し近づいた	継続	13,498	9,326	22,824	職員の休職や離職を防ぐため、特にメンタル不調の未然防止策について引き続き検討を要する。	健康診断の受診勧奨・メンタル電話相談等についての周知や産業医の活用。	
5	福利厚生事業	持続可能で信頼される行政になっている	職員が健康で意欲を持って安心して職務を遂行できる環境づくりを図るため、職員福利厚生事業を行う。	職員が意欲的に仕事に臨めるよう、親睦とリフレッシュを図るため、イベントとしては健康ウォーキングやボウリング大会、バレーボール大会を実施した。	5：達成した	継続	-	5,323	5,323	誰もが利用できる幅広い福利厚生を提供する必要がある。	福利厚生の情報発信を積極的に行う。	
6	公営企業職員等退職手当負担事業	持続可能で信頼される行政になっている	職員の退職手当額の費用について、市及び公営企業の各会計との公平性を確保するため、各会計に属する部局での在籍期間による按分を行い、費用負担する。	退職手当額の各会計費用負担の計算	5：達成した	継続	-	509	509	なし	なし	一般会計及び各企業会計で支出した退職手当を、各会計在職期間で按分して負担金として支出する事業であるため、本事業について事業目標は存在しない。
7	人事課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	庶務事務が一個人に偏ることがないように、職員間で情報共有を行い、各々で庶務事務を理解するようにする。	2：一定近づいた	継続	-	21,057	21,057	現状に満足するのではなく、常に改善の手法を検討する必要がある。	より効率的で効果的な課内事務を行っていく。	